令和7年度 社会福祉法人 井原市社会福祉協議会事業計画

1. 基本方針

我が国は、引き続き少子・高齢化による人口減少、労働力人口の減少という大きな課題を抱えています。コロナ禍により人と人との交流や地域活動が制限され人間関係や地域コミュニティの在り方に変化が見られ、国際情勢の変化はエネルギー問題や物価高騰などを招き、将来に対する不安感が増しています。

社会環境はどんどん変化し、福祉ニーズや生活課題は複合化・深刻化しています。生活困窮、孤独・孤立、子育て、認知症、ひきこもり等の様々な課題を抱えた住民が各種制度の狭間で支援を受けられない、どこに相談したら良いのかわからないといった状況に陥らないように伴走・支援していくことが社会福祉協議会の役割であると認識しています。

このような課題を解決するためには、分野ごとの「縦割り」で整備されてきた公的なサービスだけではなく、様々な分野の専門職や関係機関、地域活動団体、ボランティア等が連携・協働し対応することが求められ「相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に展開することが必要となります。

そのために、当協議会においても「ふれあい、たすけあい、ささえあい」の精神で、誰もが住み慣れた地域で家族や仲間にもまれて、安心していきいきと暮らせる地域共生社会の実現を目指し、身近な課題に向き合い、事業を推進していくことが、現在の地域社会に重要であると考え、活動を行ってまいります。

また、井原市障害者相談支援センター及び井原市地域自立支援協議会の運営、生活困窮者に対する家計改善支援事業の取り組みにより力を入れ、断らない相談及び支援体制の充実に努めてまいります。

さらに頻発する自然災害に対して、関係機関と連携・協力し災害ボランティアセンターの設置・運営ができるように、平時からの体制整備及び職員間の情報共有・連携を促進してまいります。

当協議会では、地域に根差した活動を継続・展開し、行政を始め様々な団体との連携を強化し、これまで培ってきたネットワークやノウハウを基に、地域福祉の推進の調整役となり、社会福祉法人として組織の改善や事業の充実・強化に積極的に取り組んでまいります。

2. 重点項目

- (1) 地域福祉・在宅福祉の総合的推進・連携と支援活動の強化
- (2) 地区社会福祉協議会の活性化・地区ボランティアセンター活動の推進
- (3) 介護保険事業の適正な経営とサービスの安定的、継続的な提供
- (4) 障害者・児、生活困窮者等の自立に向けた相談・支援事業の充実

3. 事業実施計画

(1) 法人運営事業

各事業の運営状況を把握・連携を図り、健全な運営と無駄をなくし、住民に対して社協を見える化できる運営に努めます。また、人材育成を図り、職員の専門性の向上に努めます。

- ①理事会、評議員会、監事会、評議員選任解任委員会、第三者委員会の開催
- ②法人運営の予算執行及び事務管理
- ③職員の専門性、資質向上のための研修の実施
- ④自主財源確保のための会員の加入促進
- ⑤管理組織体制・諸規程の整備
- ⑥総合福祉センターの管理運営

(2) 地域福祉活動推進事業

「ふれあい・たすけあい・ささえあいのまちづくり」の精神でだれもが住み慣れた地域で生きがいを持ち、安心していきいきと暮らせる地域共生社会の実現を目指し、身近な課題に向き合い、事業を推進します。

- ①ふれあいのまちづくり事業の推進
- ②地区社会福祉協議会の支援
- ③地区ボランティアセンター活動の推進
- ④ご近所福祉ネットワーク活動の推進
- ⑤は～とふるカプセルの推進
- ⑥ふれあいいきいきサロンの推進
- ⑦ふれあい福祉相談センター業務の実施
- ⑧ひきこもり相談支援センター業務の実施
- ⑨日常生活自立支援事業の実施
- ⑩手話・要約筆記奉仕員養成講座の開催
- ⑪ボランティア活動の推進・支援
- ⑫ボランティアセンターの運営
- ⑬夏のボランティア体験事業の実施
- ⑭災害ボランティアの登録推進とボランティアセンター設置訓練等の開催
- ⑮日常生活用具（ベッド・車椅子）貸与事業の実施
- ⑯ベビーカー・チャイルドシート・レクリエーション用品短期貸出事業の実施
- ⑰宅老所（ふきのとう・びせいサロン）の実施
- ⑱家計改善支援事業の実施
- ⑲災害時における協働の仕組構築事業の実施
- ⑳井原おもいやりネットワークの活動支援

(3) 共同募金配分金事業

赤い羽根共同募金の啓発に努めるとともに、制度の狭間を埋める事業の実施およびボランティア活動の支援に努めます。

- ①障害福祉団体活動助成
- ②ボランティア活動の推進
- ③園児・児童・生徒のボランティア活動普及事業の実施
- ④福祉教育の推進
- ⑤登録福祉ボランティア団体活動助成
- ⑥井原市社会福祉大会の開催
- ⑦広報紙「社協だより」の発行
- ⑧赤羽根カフェ交流会の実施
- ⑨ひきこもり支援事業の実施
- ⑩寄付つき商品地域支援プロジェクト「ソトナカ IBARA」の実施
- ⑪サロン交流会の開催
- ⑫赤い羽根井原のまちづくり助成事業の実施
- ⑬重症心身障害者・児支援「誰もが泳ぐよろこびを」の実施
- ⑭ステンシル講習会の実施
- ⑮子どもの成長応援プロジェクトの実施
- ⑯体験型防災イベントの実施

(4) 訪問介護事業

介護保険及び障害福祉において、自宅にて自立と安心のある生活ができるように、サポートします。

- ①訪問介護事業の実施（介護保険）
- ②居宅介護事業の実施（障害福祉）
- ③総合事業の実施（介護予防）
- ④高齢者生活管理指導員派遣事業の実施（介護保険）
- ⑤生活サポート事業の実施（障害福祉）
- ⑥福祉支援事業の実施（介護保険・障害福祉外）

(5) 居宅介護支援事業

利用者の意向を踏まえ、自立支援に向けた居宅サービス計画を作成し、サービスが提供されるよう関係事業者と調整しながら在宅生活が継続できるよう支援を行います。

- ①居宅介護支援事業・介護予防支援事業の実施
- ②要介護認定訪問調査の実施

(6) やすらぎセンター事業（井原市指定管理施設）

利用者・家族が住み慣れた家で、その人らしく暮らすために、機能訓練を強化し、利用者の生活改善ができるように支援します。

また、災害時の対策に努めます。

- ①通所介護事業の実施（介護保険）
- ②総合事業の実施（介護予防）
- ③はつらつデイサービスの実施（緩和基準）
- ④いきいきデイサービスの実施（介護保険外）
- ⑤やすらぎセンターの管理

(7) あゆみ園事業（障害福祉サービス事業）

障害児の日常生活における基本的動作および知識技能を習得し、集団生活に適應することができるように努め、また、生活能力向上のために必要な訓練及び社会との交流を図ることができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。

- ①指定児童発達支援事業の実施
- ②放課後等デイサービス事業の実施

(8) 相談支援事業（障害福祉サービス事業）

障害者・児の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ちながら、利用者が自立した日常生活又は社会生活が営むことができるように配慮しながら事業を推進していきます。

また、公平中立に行政を含めた多様な事業所と連携を図り、地域において必要な社会資源の改善及び開発に努めるとともに、自らその提供する指定特定相談支援及び指定障害児支援の評価を行い、常にその改善を図ります。

- ①指定特定相談支援事業の実施
- ②指定障害児相談支援事業の実施

(9) 老人福祉センター事業（井原市指定管理施設）

高齢化が進む中で、高齢者がいきいきと暮らせるように、安全で適切な施設運営を行います。

- ①井原市老人福祉センターの管理運営

(10) 生活福祉資金貸付事業

資金貸付及び特例貸付の償還業務が円滑に行えるように努め、相談者の生活再建に寄り添えるように支援します。

- ①井原市社会福祉協議会福祉資金貸付事業の実施
- ②岡山県社会福祉協議会生活福祉資金貸付事業の一部事務受託
- ③新型コロナウイルス感染症特例貸付等の償還業務
- ④相談支援体制強化推進事業の実施

(11) 交通遺児福祉基金運営事業

交通遺児福祉基金の啓発に努め、適切に激励金の交付が行えるようにします。

- ① 交通遺児への激励金の交付

(12) すぱーく美星管理運営事業

広く広報を図り、住民の方々の利用を促進し、安全で楽しめるような施設管理・運営を行います。

- ①ゲートボール場「すぱーく美星」の管理運営

(13) いばらサンサン交流館事業（井原市指定管理施設）

条例に基づき、市民に対して健康保持・世代間交流の増進及び高齢者福祉の増進のための場を与え、健康寿命の永伸を図る拠点施設として市民に健康で明るい生活が営めるように努めます。

- ①市民の健康保持・増進に関する事業の実施
- ②高齢者福祉の増進に関する事業の実施
- ③世代間交流の促進に関する事業の実施
- ④いばらサンサン交流館の管理

(14) 障害者相談支援センター事業

障害者・児がその有する能力や適性に応じて、自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう障害者又は保護者からの相談を受け、必要な情報の提供及び援助をおこなうとともに、虐待の防止及びその早期発見のため、関係機関との連絡調整、その他障害者等の権利擁護のために必要な援助を行います。

- ①障害者相談支援センターの運営
- ②井原市地域自立支援協議会の運営
- ③連絡会及び研修会の実施